

令和5年度 再評価調書

事業名	耕地地すべり防止事業	地区・路線名	井ノ久保地区
事業主体	徳島県	関係市町村	三好市
概要	<p>(事業目的) 本地区は、馬路川下流左岸部に位置し、大きく分けてA～Nまでの地すべりブロックにより構成されている。泥質岩層が大部分を占め、風化が著しく亀裂が発達している。また湧水箇所が多く大雨時には異常出水し、小ブロックの地すべりが発生しており、大雨時に渓流水による溪岸浸食が発生し地すべりを誘発する恐れがある。 本地区には、農地、農業用施設、人家、道路、集会所などの公共施設が存在し、社会的重要性も高い。このため、県土保全と民生の安定に資することを目的に地すべり防止施設の対策工事を行い、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全を図るものである。</p>		
	<p>(事業内容) 受益面積 108.0ha 受益戸数 44戸 主要工事 排水ボーリング工 1,770m、アンカー工 1箇所、 植生工 6,200m²、堰堤工・護岸工 1式、吹付法枠工 6,050m² 総事業費 895,000千円 (国50%, 県50%) 工期 令和元年度～令和10年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況) 令和4年度までに、全5ブロック中、2ブロックを実施している。 令和5年度末の事業費進捗率は、52.6%となる。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況) H30災害関連緊急地すべり防止事業 事業完了</p>		
評価	<p>(社会経済情勢の変化) 計画時点と比較し、基本的に農地面積、営農状況等の変化がないが、近年のゲリラ豪雨等により土砂災害などに対する地域住民の防災意識についても、高まっており、農業生産基盤及び生活環境基盤の維持・保全への要望は強まっている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無) 該当無し。</p>		
項目	<p>(費用対効果の分析) 地すべり活動が顕著なブロックを優先的に、アンカー工等の抑止工を実施し、事業効果の早期発現を目指す。また、他ブロックの対策工についても、順次、工事を進めることにより、地すべりの危険性の軽減を図る。 総費用総便益比＝総便益（現在価値化）／総事業費（現在価値化）＝2.17</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向) 三好市及び地すべりブロック内の関係者は、事業の早期完成を強く要望している。</p>		
目	<p>(事業の実施方針) 継続して事業を実施する。</p>		